



参考様式第1号

令和元年度 政務活動費支出伝票(一般)

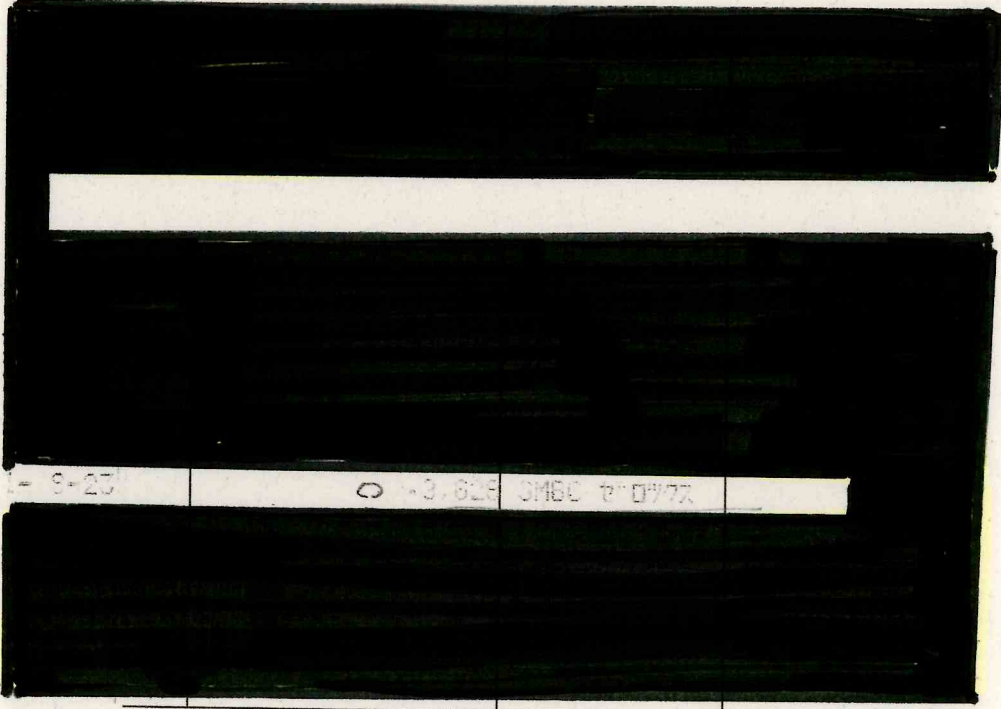
会派名 公明党函館市議団

伝票番号 7

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分	
		令和元年8月23日	事務費	
支払先 富士ゼロックス北海道株式会社			支払金額	
			¥9,628	
摘要 (品名)		数量	単価	金額
カウンター料金代(7月分)		1	9,628	9,628

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】



・小切手等の証券類によるご入金  
摘要欄にお引き出しのできる予定日を表示いたします。  
お支払可能時刻は小切手等の種類によって異なりますので  
詳細は窓口にお問い合わせ下さい。

・取引店以外でお取引いただいたときには、  
取扱店欄に、取扱店番号を3桁の数字で  
表示いたします。

参考様式第1号

令和元年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 8

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分
		令和元年8月27日	事務費
支払先 日立キャピタルNBL株式会社			支払金額
			¥16,524
摘要 (品名)	数量	単価	金額
ゼロックス複写機リース料(8月分)	1	16,524	16,524

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】



参考様式第1号

令和元年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 9

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分
		令和元年9月12日	事務費
支払先 (株)長門出版社			支払金額 ¥3,000
摘要 (品名)	数量	単価	金額
令和元年度版南北海道市町村職員録	1	3,000	3,000

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 証

No000558

令和元年9月12日

公明党函館市議団様

金額 千 百 拾 万 千 百 拾 円  
¥ 3 0 0 0 0

但し 南北海道市町村職員録  
上記の金額正に領収いたしました。



株式会社 長門出版社

代表取締役 富田秀嗣

本社 函館市日乃井町1番13号 TEL 0138 (52) 2461  
FAX 0138 (53) 2340

品名	金額	消費税	合計
令和元年版	3000		3000円
<del> </del>			
合計	¥3000		¥3000

(現金預り書)

No.

経理 富田秀嗣




現金  
小切手  
手形  
郵便振込  
印

※ 社印、代表者印、扱者印なきものと領収書の金額及び年月日訂正は無効です。

令和 元 年 度 政 務 活 動 支 出 伝 票 ( 旅 費 )

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 10

旅行承認年月日		代 表 者	経理担当者	支払年月日	区 分
令和元年 8月19日				令和元年 9月20日	・調査研究費 ・ <u>研修費</u>
No.	氏 名	金 額		受領印	受領年月日
1	松 宮 健 治	34,750			令和元年 9月20日
2					
3					
4					
支払合計金額			34,750円	_____	
◇旅行の目的 ・【学芸リカプロ】「文化拠点とまちづくり／ライフスタイル ライフコース ミュージアム」に参加するため					
◇用務地 東川町複合交流施設／せんとびゅあⅡ（東川町）					
旅 行 の 日 程			旅費の内訳（1人当たり）		
9 / 20	函館市～旭川市		路線バス, 私鉄	570円×2(旭川駅～道草館/往復)	
9 / 21	旭川市～東川町～函館市		J R	21,340円	
			航空賃		
			日 当	6,000円	
			宿泊費	6,270円	
			参加費	無 料	
			その他／パック		
			合 計	34,750円	

◇研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	【学芸リカプロ】「文化拠点とまちづくり／ライフスタイル ライフコース ミュージアム」	
会議等の目的	・「写真のまち」として有名な東川町で、まちづくりの中核となる施設として期待され、地域の新しい公共空間としての役割を模索している「せんとびゅあⅠ・Ⅱ」。この新しい公共施設のあり方を通じて、文化拠点とまちづくりの関係を考え直す機会とするため。	
日 時	令和元年9月21日（土）13：30～16：30	
場 所	東川町複合交流施設「せんとびゅあⅠ・Ⅱ」 （北海道上川郡東川町北町1丁目1-2）	
出席者	出席議員氏名	松 宮 健 治
	講師等の氏名	小篠隆生 氏（北海道大学大学院工学研究院准教授）
	その他参加者	30名
支 出 内 訳		金 額
旅 費	34,750円 × 1	34,750円
参加費	無 料	0円
合 計		34,750円

# 出張報告書

令和元年9月30日

公明党函館市議団  
代表 松宮健治 様

出張者氏名 松宮健治



下記のとおり出張したので報告いたします。

## 記

1 出張期間	令和元年9月20日(金)～21日(土) (2日間)
2 用務地	① 9月20日 函館市 ⇨ 旭川市
	② 9月21日 旭川市 ⇨ 東川町 ⇨ 函館市
	③
	④
	⑤
3 出張概要	<p>【学芸リカプロ】「文化拠点とまちづくり／ライフスタイル ライフコース ミュージアム」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日時 令和元年9月21日(土) 13:00～16:30</li><li>・会場 東川町複合交流施設 せんとびゅあⅡ</li><li>・内容 「写真のまち」として有名な東川町で、まちづくりの中核となる施設として期待され、地域の新しい公共空間としての役割を模索している「せんとびゅあⅠ・Ⅱ」。この新しい公共施設のあり方を通じて、文化拠点とまちづくりの関係を考え直す研修となっている。</li></ul>
4 所見	・別紙の通り
備考	・東川町に適切な宿泊施設がなく、旭川市に前日宿泊しました。



□日 程

○レクチャー 13:00～14:00

- ・「文化拠点とまちづくり」
- ・小篠 隆生 氏（北海道大学大学院工学研究院／准教授）
- ・「せんとぴゅあⅠ・Ⅱ」を手掛けた建築家の小篠隆生氏を迎えて、文化拠点と地域の関係について考える。

○エクスカージョン 14:10<sup>10</sup>～14:40

- ・小篠隆生氏の案内と解説で、「せんとぴゅあⅠ・Ⅱ」の館内外を見学して、その魅力に迫る。

○シンポジウム 14:50～16:30

- ・講師の小篠隆生氏と参加者全員がパネリストとなって参加するシンポジウム。

□所 感

「せんとぴゅあⅠ・Ⅱ」を手掛けた建築家の小篠隆生氏の講話は大変興味深く、今後の本市のまちづくりにも大きな示唆をいただいたと思っている。「せんとぴゅあⅠ」は旧・東川小学校を活かす上で、教育施設としての機能を十分に活かしながら、東川町の文化拠点としての役割を持たせるために、自治体としての東川町と、地域住民と、コーディネーター役の小篠隆生氏が実行委員会を立ち上げ、何度も協議を重ねてできたものである。

さらに、「せんとぴゅあⅡ」は、東川町民をはじめ、来町者の方々が自由に利用できる快適な文化空間である。東川町の特産の家具、写真のコーナー、図書館が一体となった施設であり、リラックスできる素晴らしい施設である。やはり、町民目線、利用者目線に立ったコンセプトの施設であることはいうまでもないと思う。

このことは、自治体だけで文化拠点となる施設を造っていったら、地域住民の声は反映されず、利用されることは少ないだろうことは自明の理である。本市の場合は、現在、教育施設の統廃合や文化・社会教育施設等の集約が進められているが、今一度立ち止まり、本当に市民のものになっているのか再検討することが必要ではないだろうか。今回の研修で学んだことをもとに、次期定例会では「文化拠点とまちづくり」について、様々な角度から市教育委員会並びに市長の見解を質したい。

領 収 証  
(RECEIPT)

No A011816-42

(印 紙)

ご氏名 公明党 函館市議団 様

クレジットカードの場合  
は不要

金額	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
				2	1	3	4	0	

ただし ①. JR券 ②. 航空券 ③. 宿泊券 ④. レンタカー  
⑤. 国内旅行パック ⑥. 海外旅行パック  
⑦. 定期券 ⑧. その他 ( )

9/20. 21 往復分 函館-旭川

現金	<input checked="" type="checkbox"/>	¥
クレジットカード		¥
カード 会社名	日専連	JCB VISA
	UC	DC MASTER
その他( )		
旅行券		¥
銀行振込		¥
		¥

2019 年 9 月 19 日

上記の金額領収致しました

(注) 金額を訂正したもの、取扱者印又はサインのないものは、無効でございます。

北海道旅客鉄道株式会社  
Hokkaido Railway Company

〒060-8644 札幌市中央区北11条西5丁目1番1号

取扱者

発行箇所

函館駅

No. 2926049

領 収 証

客室番号

314

公明党 函館市議団 様

¥ 6,270 -

但し ご宿泊代・駐車代・その他 料金として

2019 年 9 月 20 日 上記正に領収いたしました

現金  カード

収 入 印 紙	内 訳	_____
	税抜金額	_____
	消費税額( %)	_____

東横イン旭川駅東口

〒070-0030 北海道旭川市宮下通11-1176

TEL 0166-25-2645 FAX 0166-25-2646

担当







学びの(会場)が、いま、問い直さ(ています)。  
 確かに、ウェブ環境さえ整ってれば、いつでも、どこでも学ぶことができる時代です。けれども他方で、その現代において、どこかに集まり、誰かを顔を合わせて学びあうという昔ながらの経験の価値が、見直されはじめていることも事実だといえるでしょう。文化や教育によるまちづくりが全国的に広がるなかで、ミュージアムやライブラリー、複合施設等の文化系施設に注目が集まっていることは、そのあらわれのひとつかもしれません。本イベントでは、こうした現代の文化施設に着目しつつ、ひとびとの学びのあり方や、学びと地域との関係について、実践的に考えていきます。舞台は北海道のど真ん中・東川町。「写真のまち」を宣言して継続的な取り組みを行ったリ、デザイン、クラフト、山岳文化といった独自の切り口を押し出したまちのイメージ戦略を打ち立てたりと、文化を軸としたまちづくりで全国的にも知られている町です。今回の会場は、その東川町で、まちづくりの中心核になる施設として期待され、地域の新しい公共空間としての役割を模索している、「せんとびゅあI・II」。この新しい公共施設のあり方を通じて、文化拠点とまちづくりとの関係を、考え直してみませんか。

## LECTURE

レクチャー 13:00~14:00  
 小篠隆生氏(北海道大学工学研究院 准教授)  
**「文化拠点とまちづくり」**



せんとびゅあI・IIを手掛けた建築家・小篠隆生氏をお迎えし、文化拠点と地域との関係について考えます。

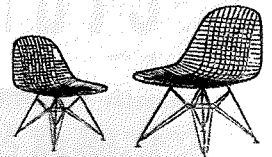
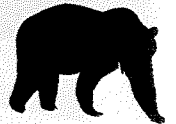
小篠 隆生(おささ たかお)

1958年生。1983年北海道大学工学部建築工学科卒。2006年から北海道大学工学研究院准教授。博士(工学)。一級建築士。専門は、キャンパス計画、都市計画、都市デザイン、建築計画。主な著作には、「地区の家」と「扉のある広場」(2018、鹿島出版会(共著))、Regenerative Sustainable Development of Universities and Cities(2013,Edward Elgar, (分冊執筆))、「いまからのキャンパスづくり」(2011、日本建築学会(分冊執筆))、「地域と大学の共創まちづくり」(2008、学芸出版社(分担執筆))など。主な作品に、北海道大学ファカルティハウス(1995)、遠友学舎(日本建築学会北海道建築賞2001)、稚丹町立余別小学校(文教施設協会賞2003)、東川町立東川小学校+地域交流センター(北の聲アート賞奨励賞2014、赤レンガ建築賞奨励賞2016、北海道建築賞2018)、東川小学校+地域交流センターとその周辺環境整備(アジア都市景観賞2016)。主な活動として、東川町学社連携推進協議会で農林水産大臣賞を受賞(むらづくり部門2016)。

## EXCURSION

エクサカーション 14:00~14:40  
**「せんとびゅあさんぽ」**

せんとびゅあI・IIの館内外を見学。その魅力のひみつに迫ります。



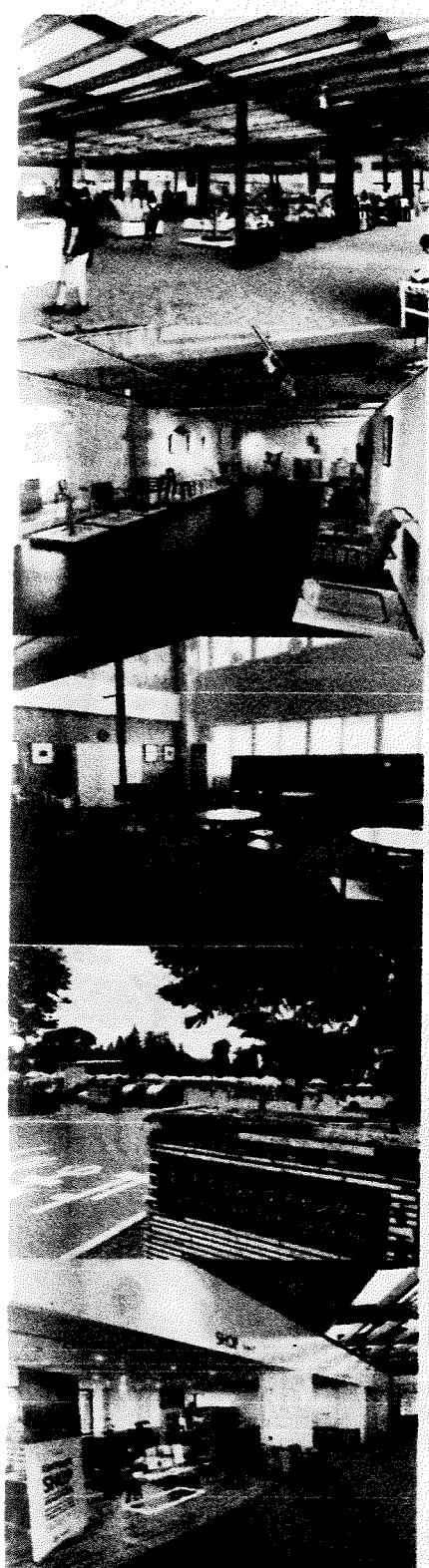
## SYMPOSIUM

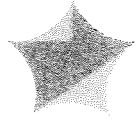
シンポジウム 14:50~16:30  
**「ライフスタイル、ライフコース、ミュージアム」**

- 大野仰一さん(せんとびゅあ館長)、古里演子さん(東川町文化キャラリー学芸員)
- 小篠隆生さん(北海道大学大学院工学研究院准教授)、本多大樹さん(東川町文化レクリエーション課課長)
- 熊谷麻美さん(北海道立銅路芸術館学芸員)、沼田絵美さん(小川原楢記念美術館学芸員)
- 塚田真理子さん(「ちいさな帆」主宰)、大澤夏美さん(ミュージアムグッズ愛好家)
- 中島香矢さん(北海道美術史研究)、梅藤夕美さん(京都大学大学院文学研究科博士後期課程)
- 矢野ひろさん((株)ノーザンクロス(NPO法人北海道遺産協議会事務局))
- 石岡麻梨子さん(会社員、広告代理店勤務)、山田のぞみさん(本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員)
- 倉澤綾野さん(北海道大学文学部)、横山仁美さん(北海道大学文学院修士課程)
- 佐々木亨さん(北海道大学文学研究院教授)、森岡和子さん(北海道大学文学研究院研究推進室長)
- 鳥羽早弥佳さん(北海道大学学芸員リカレント教育プログラム事務局) .....and YOU!

司会: 今村 信隆(北海道大学文学研究院特任准教授)

ほぼ全員がハネリスト。  
 どなたでも  
 ご参加いただける  
 やわらかいシンポジウム  
 です!





検索



総合

# 【学芸リカプロ】「文化拠点とまちづくり | ライフスタイル ライフコース ミュージアム」開催のお知らせ

2019年 09月21日 開催

掲載日: 2019年08月21日 学芸リカプロ



チラシ

学びの〈場〉が、いま、問い直されています。確かに、ウェブ環境さえ整っていれば、いつでも、どこでも学ぶことができる時代です。けれども他方で、その現代において、どこかに集まり、誰かと顔を合わせて学びあうという昔ながらの経験の価値が、見直されはじめていることも事実だといえるでしょう。文化や教育によるまちづくりが全国的に広がるなかで、ミュージアムやライブラリー、複合施設等の文化系施設に注目が集まっていることは、そのあらわれのひとつかもしれません。本イベントでは、こうした現代の文化施設に着目しつつ、ひとびとの学びのあり方

や、学びと地域との関係について、実践的に考えていきます。舞台は北海道のど真ん中・東川町。

「写真のまち」を宣言して継続的な取り組みを行ったり、デザイン、クラフト、山岳文化といった独自の切り口を押し出したまちのイメージ戦略を打ち立てたりと、文化を軸としたまちづくりで全国的にも知られている町です。今回の会場は、その東川町で、まちづくりの中核になる施設として期待され、地域の新しい公共空間としての役割を模索している、「せんとぴゅあII」。この新しい公共施設のあり方を通じて、文化拠点とまちづくりとの関係を、考え直してみませんか。

## 日時

2019年9月21日（土） 13:00-16:30

## 場所

東川町複合交流施設 せんとぴゅあII  
(上川郡東川町北町1丁目1番2号)

※申込不要、参加費無料、どなたでも参加いただけます。

## プログラム

LECTURE 13:00-14:00

### 「文化拠点とまちづくり」

小篠 隆生 氏 (北海道大学大学院工学研究院 准教授)

せんとぴゅあI・IIを手掛けた建築家・小篠隆生氏をお迎えし、文化拠点と地域との関係について考えます。

## /// EXCURSION 14:00-14:40

### 「せんとぴゅあさんぽ」

せんとぴゅあI・IIの館内外を見学。その魅力のひみつに迫ります。

## /// SYMPOSIUM 14:50-16:30

### 「ライフスタイル、ライフコース、ミュージアム」

ほぼ全員がパネリスト。どなたでも参加いただけるやわらかいシンポジウムです。

大野仰一さん（せんとぴゅあ館長）

吉里演子さん（東川町文化ギャラリー学芸員）

小篠隆生さん（北海道大学大学院工学研究院准教授）

本多大樹さん（東川町文化レクリエーション課課長）

熊谷麻美さん（北海道立釧路芸術館学芸員）

沼田絵美さん（小川原脩記念美術館学芸員）

塚田真理子さん（「ちいさな帆」主宰）

大澤夏美さん（ミュージアムグッズ愛好家）

中島香矢さん（北海道美術史研究）

梅藤夕美子さん（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）

矢野ひろさん（(株)ノーザンクロス(NPO 法人北海道遺産協議会事務局)

石岡麻梨子さん（会社員、広告代理店勤務）



山田のぞみさん（本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員）

倉澤綾野さん（北海道大学文学部）

横山仁美さん（北海道大学文学院修士課程）

佐々木亨さん（北海道大学大学院文学研究院教授）

森岡和子さん（北海道大学文学研究院研究推進室長）

鳥羽早弥佳さん（北海道大学学芸員リカレント教育プログラム事務局）

.....and YOU !

司会：今村 信隆（北海道大学文学研究院特任准教授）

## // お問い合わせ

〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西7丁目

北海道大学大学院文学研究院内「学芸リカプロ事務局」

Email: recurrent\_hokudai@let.hokudai.ac.jp

TEL: 011-706-4017

## // 主催

北海道大学大学院文学研究院

## // 共催

北海道大学工学研究院、同総合博物館、同アイヌ・先住民研究センター、同  
CoSTEP、同TERRACE

## // 後援

東川町

## // 助成

2019年度文化庁 大学における文化芸術推進事業

「ミュージアム学芸員の企画展制作〈立案・運営・評価〉スキル養成深化プログラム」

関連リンク

学芸員リカレント教育プログラム

[Facebook](#) [Twitter](#) [LINE](#)

### 古い記事

[北大道新アカデミー「ワールド・カルチャー・マップ～人と文化を科学する～」](#)

### 新しい記事

[第12回 応用倫理・応用哲学研究会「緩和ケア領域の音楽療法－音楽で寄り添うとは－」開催のお知らせ](#)

カテゴリー別アーカイブ 

年別アーカイブ 

イベント開催予定

2019年 08月13日 ~  
10月11日 開催

企画展示

〈特集図書展示  
No.16〉夏本番！  
フィールドワーク  
特集

2019年 09月17日 開催

セミナー・講習会

第3回 人間知・  
脳・AIセミナー  
「経験を伝えるこ  
と／経験を共有す  
ること」開催のお  
知らせ

2019年 09月18日 開催

セミナー 講習会

第4回 人間知・  
脳・AIセミナー:  
CHAIN  
Academic  
Seminar #4  
"Structures of  
Consciousness"

2019年 09月21日 ~  
12月21日 開催

公開講座

北大道新アカデ  
ミー「ワールド・  
カルチャー・マッ  
プ～人と文化を科  
学する～」

2019年 09月21日 開催

学芸員リカプロ

【学芸リカプロ】  
「文化拠点とまち  
づくり | ライフス  
タイル ライフ  
コース ミュージ  
アム」開催のお知  
らせ

2019年 10月16日 開催

セミナー・講習会

第12回 応用倫  
理・応用哲学研究  
会「緩和ケア領域  
の音楽療法－音楽  
で寄り添うとは  
－」開催のお知ら  
せ